

外国人労働者雇用のご提案



はじめに

去る2013年の第二次安倍内閣の、いわゆる「アベノミクス」が打ち出され、2020年の東京オリンピック、2025年の大阪万博開催も決定し、日本の経済は急速に活性化しております。景気は高まり、各企業様の慢性的な人手不足が今後一段と加速していくことが予測されます。しかしながら現代の日本では、世界でも例を見ないほど少子高齢化が進んでいることでも有名です。このような状況の中、いかに労働力を確保していくかが難題であり、頭を悩ませている企業様も多いかと存じます。現在でも外国人労働者を貴重な労働力として積極的に採用しようとする企業様も増加傾向にありますが、九州地区では未だに外国人労働者雇用への不安や抵抗がある企業様も少なくありません。

私どもソームワークは約6年前から外国人労働者の雇用を推進してまいりました。この6年間で培った経験と実績を強みに、企業様の深刻な人手不足を外国人・日本人労働者の両側面からサポートいたします。この機会に是非とも外国人労働者の雇用をご検討ください。

平成31年1月 ソームワーク（株）

①国内における外国人労働者の内訳（就労形態）

①専門的・技術的分野 約23.8万人

- ・【該当する主な在留資格】教授、高度専門職、経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術、企業内転勤、介護、技能

②身分に基づき在留する者 約45.9万人

- ・「定住者」主に日系人、「日本人の配偶者等」、「永住者」永住を認められた者、これらの在留資格は在留中の活動に制限がないため、様々な分野で報酬を受ける活動が可能。

③技能実習生 約25.8万人

- ・技能移転を通じた開発途上国への国際協力が目的。就労期間3年（機械・金属関係15職種27作業 建設関係21職種31作業 農業関係2職種6作業 食品製造関係9職種14作業 その他9職種19作業）

④特定活動 約2.6万人

- ・EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士候補者、ワーキングホリデー、外国人建設就労者、外国人造船就労者等

⑤資格外活動 約29.7万人

- ・留学生のアルバイト等 本来の在留資格の活動を阻害しない範囲内（1週28時間以内）で報酬を受ける活動が許可。

計 約127.8万人 ※外国人雇用状況の届出状況（2017年10月末現在）による。

〇〇③導入までの流れ（フローチャート）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

STEP 3. 職場見学

候補者と担当者が伺い、職場見学をさせていただきます。就業後ミスマッチが発生しないように、双方で細かい確認作業を行います。



就業開始

勤務開始日は各担当が同行して万全のサポートを行います。必要であれば職場・作業研修にも同席し、双方の不安や問題点をクリアするお手伝いをさせていただきます。

STEP 2. 人選



登録、日本語学校、各コミュニティと連動して厳選に候補者を人選します。

STEP 4. 就業前教育

弊社独自の事前教育（マナー研修、安全研修など）+ 貴社の基本的なルール等を就業前に教育いたします。



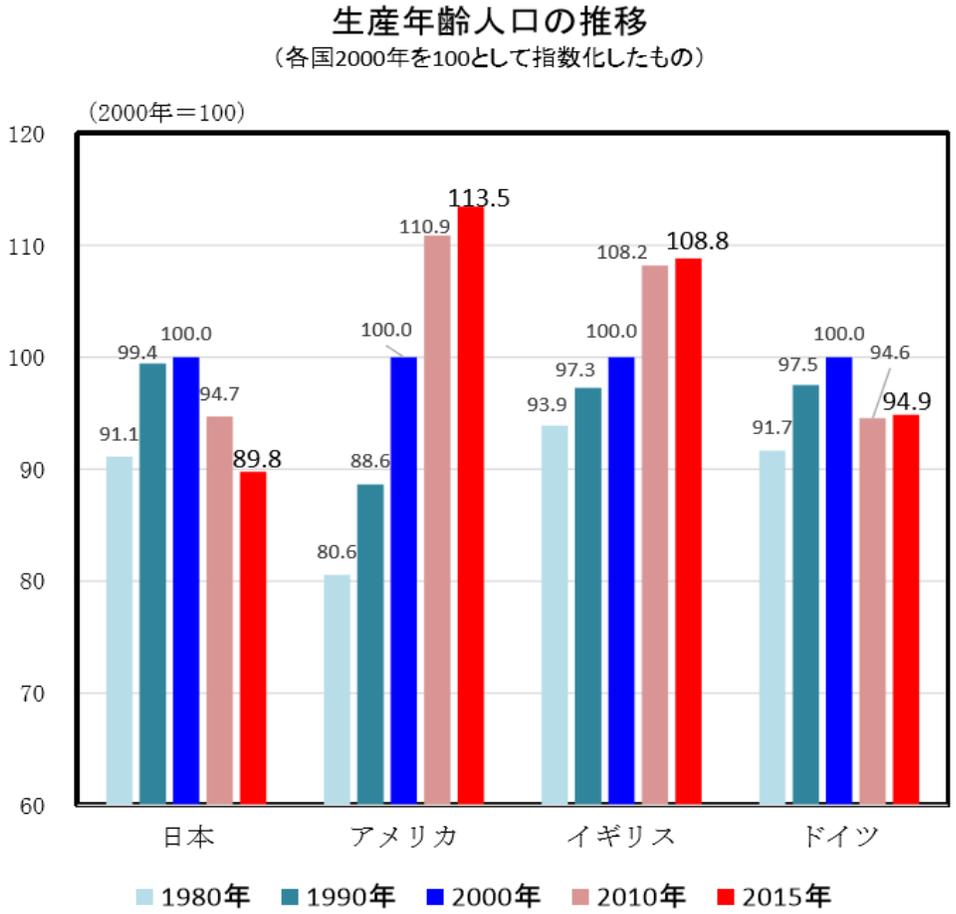
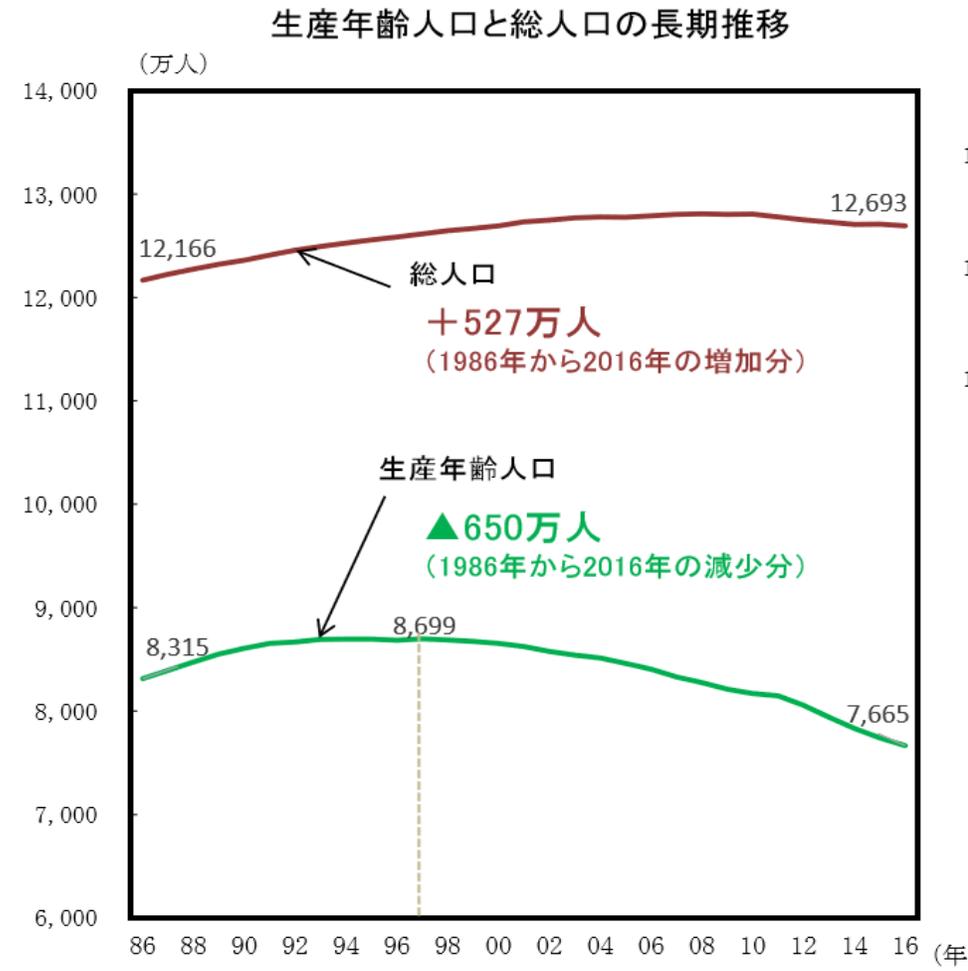
STEP 1. 打合せ

貴社のニーズ（職種、作業内容、期間、語学カレベル、etc.）、環境等を確認させていただき、ベストな提案をさせていただきます。



資料 | 生産年齢人口等の推移

日本の生産年齢人口は1997年を境に減少が続いており、他の先進国と比べて減少傾向が顕著である。

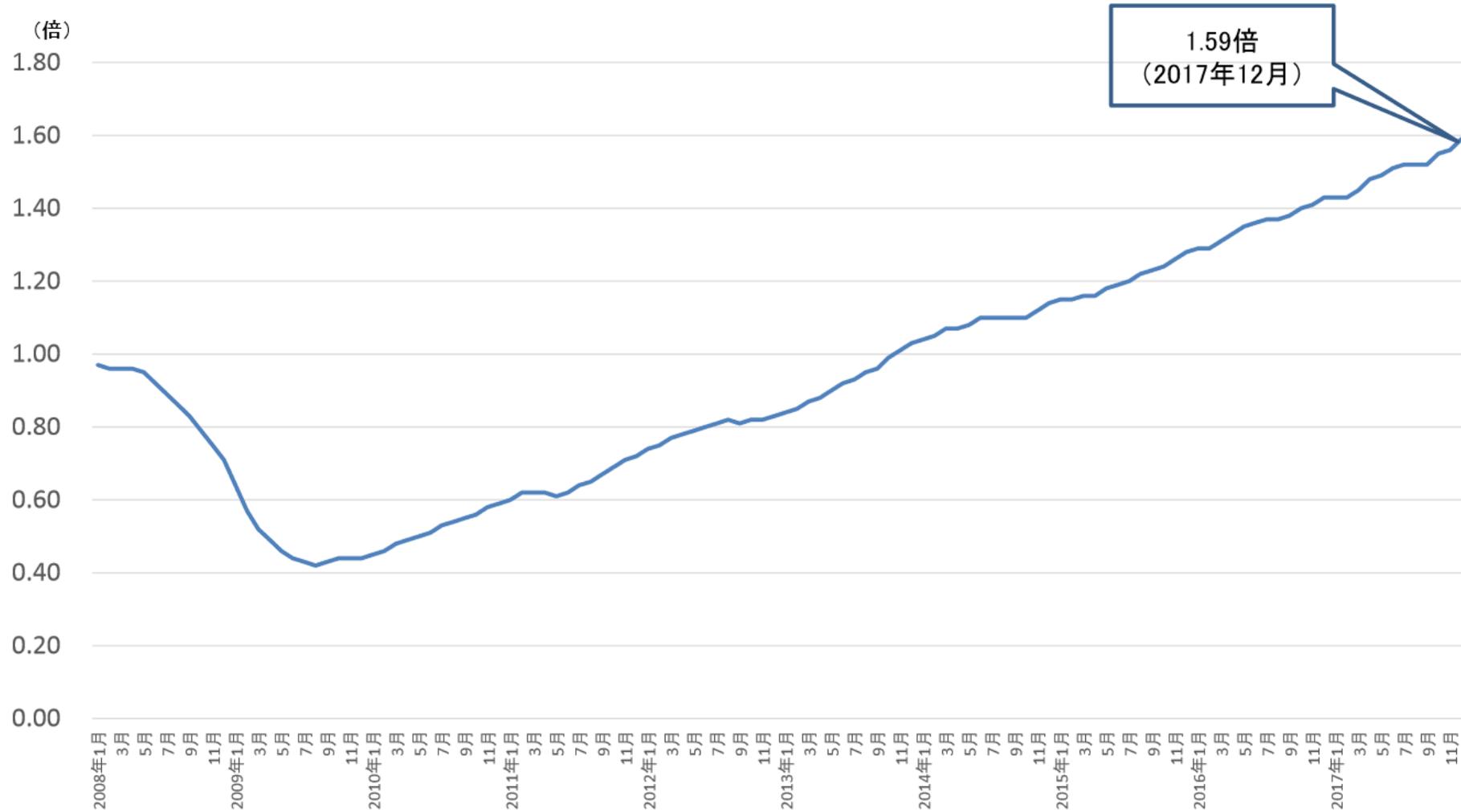


※総務省「労働力調査・人口推計」より引用
(注) 生産年齢人口：15～64歳の人口

※国連「世界人口推計 2015年版」より引用

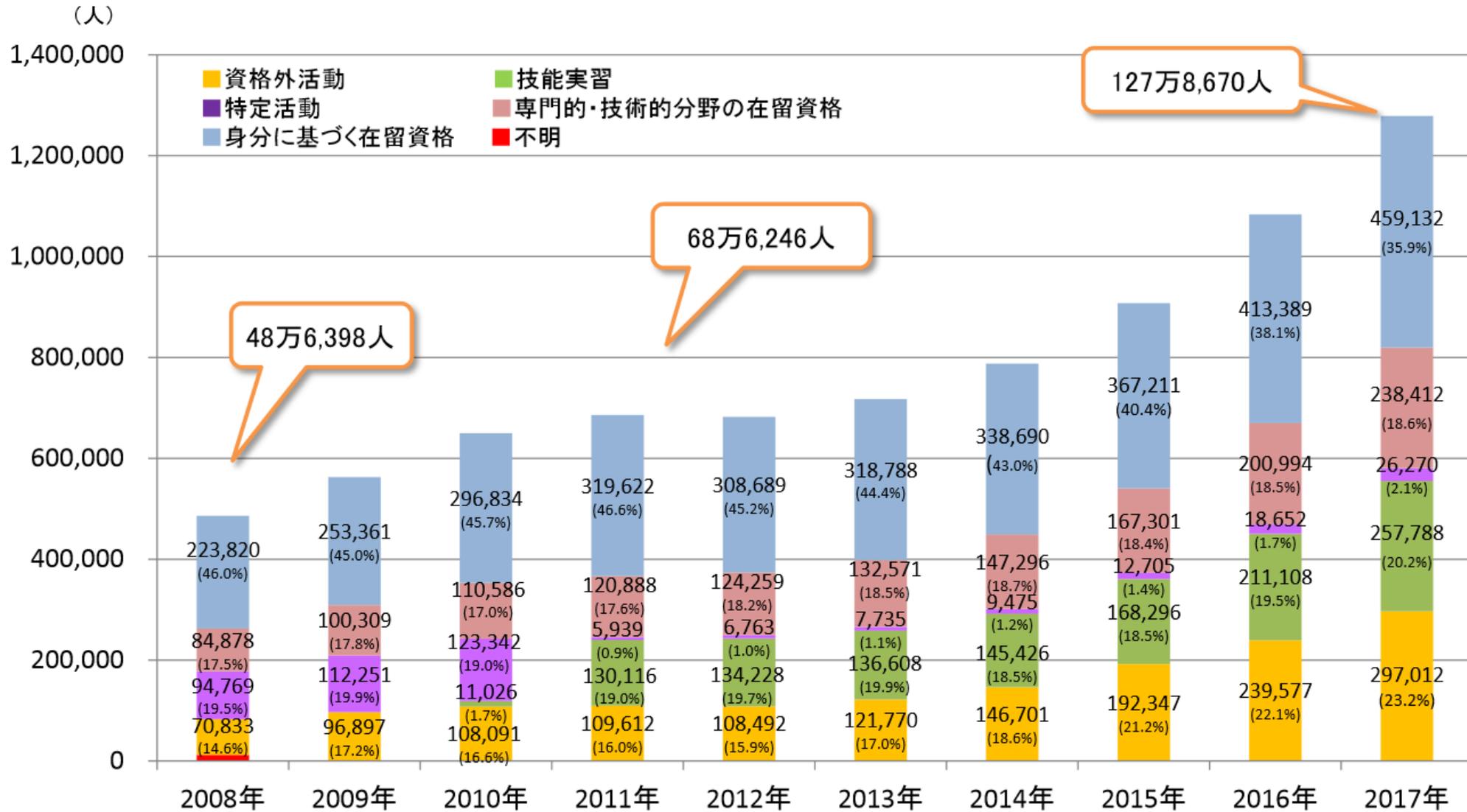
資料Ⅱ 有効求人倍率

有効求人倍率は急速に加速し2017年12月では、1.59倍と43年ぶりの高い水準。



※厚生労働省「職業安定業務統計」より引用

資料Ⅲ 日本における外国人労働者数の推移



※厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめに基づく集計より引用（各年10月末現在）